

日本紙興 株式会社

高い製本技術と最新鋭設備を駆使 PUR製法で高品質な製本生産

- 納期
相談
- 企画力
自信有
- コスト
相談
- オンリー
ワン技術
- メイドイン
ジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産
対応



製本ライン

業務内容
製本にこだわり約60年
全部がオートクチュール

昭和25年創業以来、「製本」一筋にこだわる大阪トップの製本加工請負会社。無線綴などの並製本やハードカバーやビニールカバーの上製本などを手がけている。顧客は大手印刷会社や出版会社を中心に、メーカーカタログ、通販カタログ、小・中・高校用教科書、参考書等学校関係図書、一般図書類など幅広く製本を行っている。「お客様の印刷物は、紙やサイズ、数量など一つ一つがオートクチュール。60年以上培ってきた製本技術で応える」と清水常雄社長は語る。またレンタル書架では24時間セキュリティで本や資料を預かっている。

強み
大小ロット本を即日即出荷
徹底した品質管理と機械化

当日朝に印刷会社や出版社から運ばれた刷本が入荷し、同日夕方までに数冊の小ロットから何十万冊もの大ロットの本まで納品できるのが強み。作業者が刷本と刷本の間に空気を入れ、紙をさばき、丁合機でページの順番をそろえる丁合、背切り、のり付け、表紙の貼り付けプレス、断裁などの工程をへて製本が完成する。各工程で検査が実施され丁合工程では順番が正しいかCCDカメラで乱丁検査や厚みの検出など品質検査する。最終工程では検品者が全数を目視検査し出荷する。プライバシーマークの認証を取得し、徹底した品質管理体制と最新鋭設備を導入し顧客満足の向上を図っている。

独自技術
分厚い本でも丈夫な強靱さ
いち早く設備と技術を導入

PUR（ポリウレタン系反応性ホットメルト）製本は空気中の水分（湿気）と反応することで硬化し、一旦反応が終了すると再加熱しても溶解せず強力な接着力を発揮する。本文の各ページをまっすぐに引く張る強さが約2倍強い。従来のホットメルトに比べ1冊の塗布量を少なくでき開きの良い本に仕上がりが、分厚い本が本の中身を180度開いても、ばらけないのが特徴。多系列におよぶ製本設備の内、スイス製の最新のPUR製本設備を計3台所有する。PUR製本は製本業界でも徐々に普及し始めているが、すでに10年前にいち早く導入し、約3年をかけて技術を蓄積し、約7年前に受注を始めた。

今後の展望
PUR製本技術の長所をアピール
顧客のきめ細かいニーズに対応

PUR製本技術は何十万種類の工具類を扱う商社の分厚いカタログ本用に初採用されてから認知度も次第に高まっている。ハードカバーの本などに用いられている糸と比べ製本コストを低減できるため今後受注が増えると期待されている。PUR製本の長所をアピールし、普及させていく。製本業界は大量生産に守られスケールメリットを生かしたコストありきの時代から小ロット多品種生産による顧客対応の時代へと変化している。今後はデジタル化が進む中で一層細部の部分化を要すると考えられるため消費者個々の対応ができるように取り組んでいく。



PUR製本技術の本

COMPANY PROFILE

日本紙興株式会社

大阪 26

当社の歴史

前身の川崎製本を昭和25年に引継ぎ、社業を大きく全国に発展させる意味で日本紙興に社名変更しました。当時、主な受注品の電話帳や教科書を基盤に会社を發展させ、全国でいち早く無線綴機を導入してライン生産体制を確立し、現在は商用カタログや教科書、参考書をメインに品質、納期を厳守しPURという新しい製本技術を用いて生産しています。

高品質、短納期、新技術を兼ね備え顧客満足を与えます。

代表取締役社長 清水 常雄さん



■主な事業内容
製本加工請負、レンタル書庫

■主な取引先（納入先）
印刷会社、出版社

住所／〒578-0984
東大阪市菱江
1-15-48
TEL／072-965-6111
FAX／072-965-6110
創業／昭和25年7月
設立／昭和25年7月
資本金／1億円
従業員／66名

<http://www.nihonshikoh.co.jp>